



バイオ × 地域企業 オンラインセミナー

バイオ技術を活用した 新しいビジネス の可能性



コロナをきっかけに、より持続可能な企業への転換を模索している企業も多いのではないのでしょうか。しかし、「新しい事業のタネ」を見つけることは難しく、何をどうしたらいいのかと悩む企業も多いことでしょう。そんな企業の皆さん、「バイオ技術」に注目してみませんか。バイオ技術は医療や創薬といった分野だけでなく、様々な分野で応用される技術です。繊維、食品、農業、環境といった分野にバイオ技術を応用することで新しいビジネスが生まれる可能性があります。今回のセミナーでは、様々な分野で応用されている「ゲノム編集技術」について、その基本的な技術説明や遺伝子組み換えとの違いをわかりやすく説明します。ゲノム編集にはどのようなビジネス創出の可能性があるのか、どのような分野で応用が可能か、実際に企業が活用している事例紹介などを交え、長浜バイオ大学で行われている最新研究情報をご紹介します。さらに、近年、世界的な課題となっているプラスチックゴミに対する新たな技術開発や、将来の食糧問題に対応するための新たなタンパク源開発など、持続可能な社会を目指すための研究内容をご紹介します。自社技術を活かした新事業や新たな第二創業へのチャレンジを、地域の大学とスタートしましょう。

▶ 講演

講演
①

長浜バイオ大学における産官学共同研究の実例 – ゲノム編集技術を中心に –

講師 蔡晃植 氏 長浜バイオ大学 学長

講演
②

バイオテクノロジーで社会課題解決と新産業創出

– マイクロプラスチック除去技術と昆虫利用による循環型食料生産 –

講師 小倉 淳 氏 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 教授

日 時 2022. **2.28** (月) 15:30 ~ 17:30

開催方法 **オンライン開催**

※ 開催日までに当日参加いただくための Zoom 情報をお送りいたします。

※ お申し込みの際は、Zoom 情報をお送りするためのメールアドレスを必ずご記入ください。

参加費 **無料**

講演要旨

長浜バイオ大学における産官学共同研究の実例 – ゲノム編集技術を中心に –

近年、ゲノム編集技術の発展により、産官学での共同研究にも大きな変化が起きています。

本講演では、ゲノム編集技術とはどういうものなのかをわかりやすく説明すると共に、この技術や他の新技術を用いた長浜バイオ大学における産官学共同研究の事例についてご紹介したいと思います。

バイオテクノロジーで社会課題解決と新産業創出

– マイクロプラスチック除去技術と昆虫利用による循環型食料生産 –

持続可能な社会の確立に向け、バイオテクノロジーを活用した環境低負荷な社会課題解決に取り組んでおり、そのうち二つの事例を紹介する。一つは、マイクロプラスチック問題で、微細化したマイクロプラスチックによる周辺の水質悪化や水産物への汚染が問題となっているが、回収・除去技術はあまり進んでいない。我々は、微細藻類培養によりマイクロプラスチックを除去できることを実証し、通常の水質浄化機能や二酸化炭素固定機能なども有した付加価値のある水質浄化技術として研究開発をしている。

もう一つは、タンパク質危機である。地球人口は2050年に100億人に達すると予測され、新興国の経済発展も相まってタンパク質供給が危機的状況に陥ると予測される。そこで着目されているのが昆虫食で、地球温暖化への影響が大きい畜産が増やせない中、新しいタンパク質源として期待されている。我々は、昆虫食による循環型食糧生産システムの構築に取り組んでいる。

この二つは、食と水の安全というテーマで緊密に関わっており、これらを統合した新しい事業作りに関する取り組みも紹介する。

参加申込みはこちらから

参加申込み
お問い合わせ



一般社団法人 **バイオビジネス創出研究会**

Tel. 0749-65-8808 Fax. 0749-65-8858

Mail. info@biobiz.jp



【参加申込書】 お申し込みは、ファックス、メール、QRコードからどうぞ！

必ずメールアドレスを
ご記入ください！

ふりがな 名 前	所属名 役 職	E-mail
ふりがな 名 前	所属名 役 職	E-mail
ふりがな 名 前	所属名 役 職	E-mail
企業・団体名		
住 所 (〒)		
TEL	FAX	

※ご記入いただいた個人情報は、当日のイベント参加の確認、主催者からの各種催し物のご案内など情報の提供や催し物等に参加いただいた方の調査分析にのみ使用いたします。